

つるロゲイニング 2021AUTUMN 報告書

目次

- ・ 団体の概要・事業目的
- ・ 活動実績
- ・ これからの課題
- ・ 提言



団体の概要・ 事業目的

団体紹介

ゲストハウスゆかり



人と人が繋がる場所をベースに、
「多様な“縁”をデザインする」ことを
今期コンセプトとして掲げ活動している

- ・ 2017年開業
- ・ 今期運営は13名
- ・ 学生のみで継承し、経営を続ける

地方創生任意団体SMITRY



理念「地域から幸せをお届けします」

そんな理念をを元に、地域が好きな若者同士が交流し、
ヨコの繋がりを増やすことで地域の魅力を伝える団体

活動内容

SNSを通した情報発信

地域で活躍する方を招いたオンラインイベント

地域の若者が交流できるプラットフォームの創出

事業目的

まちを楽しむコンテンツ作り

- 様々な切り口で都留や郡内地域を盛り上げる方法を模索する
- 新しい関係人口創出に向けた実証実験
- 都留や郡内での魅力的なコンテンツを導入する
- 今後 教育や地域交流に活かすための実地調査

まちと学生の関り

- 都留市全域（公共交通手段が及範囲）という広範囲での実施
- 地方創生任意団体SMITRY（オンラインで地方創生について取り組む団体）と協力
- 地域の学生が主体となり、地域を巻き込む取り組み
- オンラインで企画し、オフラインで実施
- SNSを活用し、UGCやデジタルコンテンツの創出促進

まち×学生×未来

- ロゲイニングが盛り上がりを見せ始めている
- “今風”そして“これから”のオンライン×オフラインの地域活性化についての提言
- 地域を魅力化し続ける動きで暮らしや観光の質の向上を図る
- 流動的な地域学生が集まり企画したいという動き

活動実績

概要

- 2021年8月よりゲストハウスゆかり×地方創生任意団体 SMITRYとの間で、「つるロゲイニング2021事務局」を組織
- 事務局員のうち都留文科大学の学生をはじめとし、早稲田大学の学生や、高校生、社会人等も参加し、地域や所属によらない運営を行った
- 8月には都留市市民委員会指定事業として採択されたほか、富士急行株式会社様をはじめとした、計7団体/企業様の後援/協力を頂いた
- 8～10月にはオンラインをメインに、イベントを企画
- 10月17日に参加者37名で開催し、盛況の一日となった



ロゲイニングとは

- ナビゲーションスポーツの一種
- 地図をもとに時間内にチェックポイントを回る
- チェックポイントごとに割り当てられた得点を集める
- チェックポイントが多く、一回のゲームで回り切れない
- また回る順番はきめられていない
- 対象者は子どもから大人まで

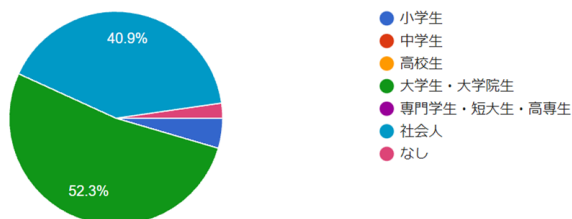


申込者数と所属

申込者数 44名

小学生 0名
中高生 0名
学生 23名
社会人 18名
その他 1名

所属
44件の回答

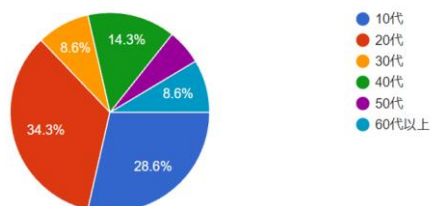


※グラフ：申込フォームより

申込者年齢層（35件回答）

10代	10名
20代	12名
30代	3名
40代	5名
50代	2名
60代以上	3名

年齢についてお答えください。（所属で社会人と回答した方のみお答えください。）
35 件の回答



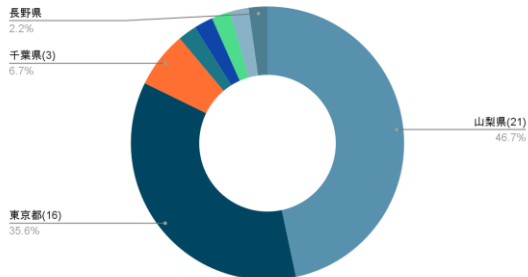
※グラフ：申込フォームより

申込者年齢層まとめ

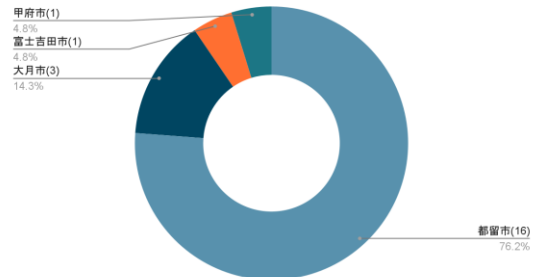
- ・ 今回は広報をゲストハウスゆかりやそのスタッフのSNSに頼ったため、大学生が52%という結果になった。
- ・ 参加した大学生23名のうち16名が都留文科大学の学生であった。
- ・ 社会人の参加者も40%得られた。
- ・ 文大OBや都留のことを知っていたがくるきっかけがなかった、など参加理由は様々であった。

申込者居住地

申込者居住地(都道府県)



山梨県内

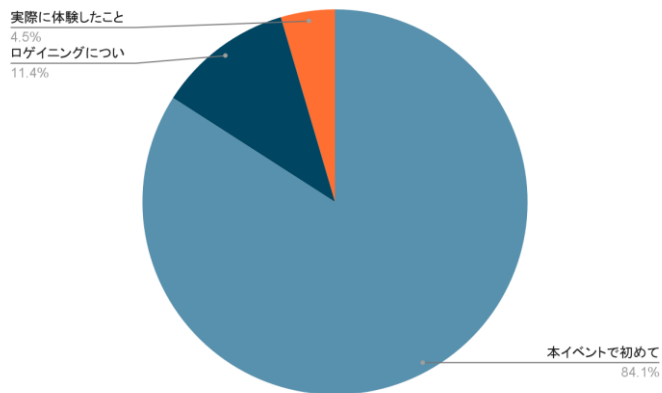


※その他：埼玉県、茨城県、静岡県、富山県、長野県（それぞれ1名）

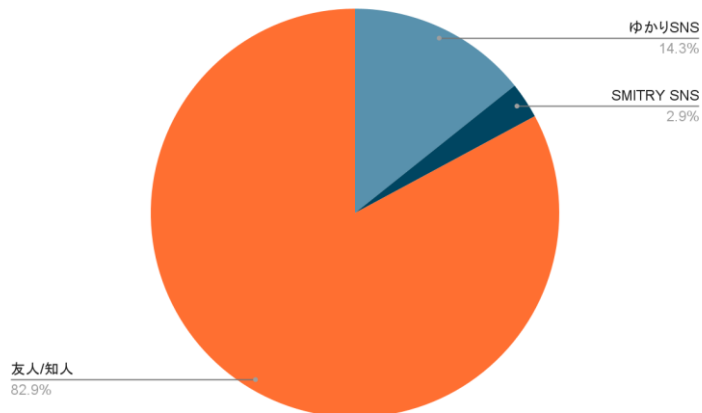
申込者居住地まとめ

- 申込者のうちの全体の46%が山梨県内からの申し込みだった。
- そのうちの76%が都留市内からの申し込みだった（学生が大半）
- 県外では、全体の35.6%が東京都からの申し込みであった。
- 東京圏からの参加が多かった。

ロゲイニングについての認識(開催前)



どのようにしてイベントに申し込んだか



どのようにしてイベントに申し込んだか

○ゆかりSNS

twitter: 3人

instagram:1人

Facebook1人

○SMITRY SNS

instagram:1人

○友人/知人

ゆかりスタッフ : 11人

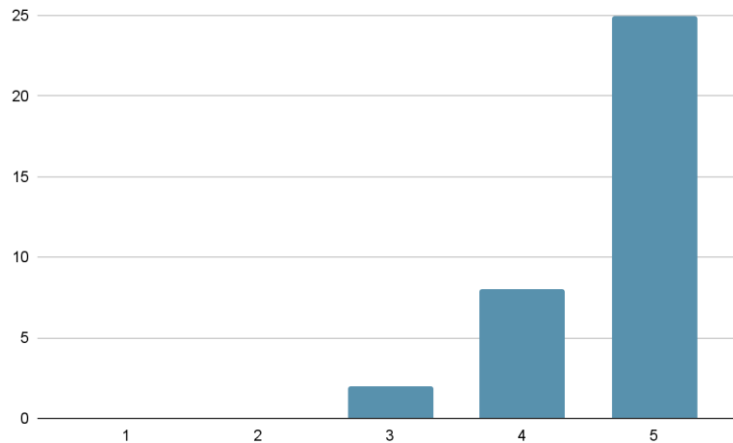
家族/身内 : 4人

友達 : 13人

申込者申込経路まとめ

- 広報開始当初からの申込者から勧誘があり参加した層が大半
- SNSでも一定の反響は得られた
- 課題は、運営スタッフによる直接の声かけ集客によって全体の約半数の参加者を獲得することになったので、今後はSNSや広告等が入り口となるような参加者を狙いたい

イベント満足度（不満 1 ～ 5 満足）



集まった意見（その①）

電車の本数が少ない

賞品が絶対に欲しかった

都留の町中を歩くこちで普段車で移動する中で見れない場所や出会いがあった

まあまあ楽しかった、あいだ

都留市の色々な観光場所が沢山ある事はわかりました。

電車の本数が少ないのと、雨天決行はきつかったです

楽しかった

都留のポテンシャルを改めて感じました

都留市の魅力を発見することが出来た。また、スタッフの方が暖かく安心して参加することが出来た。

話しながら楽しく歩けたこと。都留の街中について、林業組合の人などを通して知れたこと。

よい非日常を経験出来ました！

めっちゃ楽しかった

都留市にたくさん素敵な場所があることを知ったから。身体を動かせたから。

都留のことを楽しみながら知ることができた

あちこち回れて楽しかったから。

行ったことがない場所にいった。新しい発見があった

集まった意見（その②）

行ったことがない場所にいった。新しい発見があった
こういった機会がないと、なかなか都留市内を歩くことはないから。
新たな発見がたくさんありました。
友達と都留を巡る中で色々な観光スポットを知ることができた。
友達と楽しくゲームに参加できたから。
新しい発見があって面白かったから。
都留市民も観光客も同等に楽しめて同じメンバーとも仲良くなれたから。
地域密着で協賛するなどうまく連携したイベントに作り上げられていたため、
参加していても楽しむことができたので
今まで知らなかったお店を知れたから。
都留市広範囲を歩いた達成感。

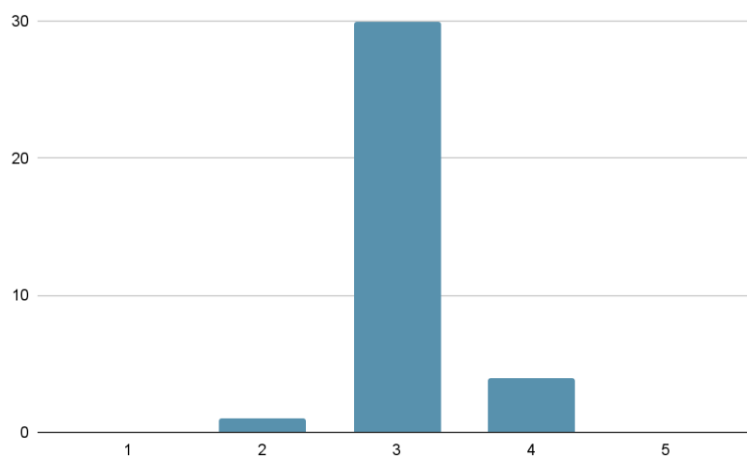
集まった意見（その③）

新しい発見に溢れていた
都留文科大学に在学時代には知らなかった場所を知ることが出来た
自分の好きな散歩&旅行をしながら、もしかしたら景品がもらえるかもというワクワク感を味わえたから。
楽しい企画だったが地図に誤りがあった。
今まで知らなかったスポットを巡ることができた
イベント自体は楽しかったが部分的に問題点があったため。
自分知らない都留がまだまだ沢山あることを知れ、充実した時間を過ごせたから。
達成感があったから
自分からなかなか回られない場所を見ることができて貴重な経験ができた。都留市の良さを再発見できた。

イベント満足度まとめ

- 総じて高い評価を得ることができた。
- あえて都留を歩いてもらうことで、参加者の方が見落としていた都留の風景と向き合うことで、その良さに気付けた、という意見が多かった。
- 観光×スポーツが自然と実現され満足度が高かったようにも思われる。

制限時間について (短い1～3 ちょうどいい～5 長い)



集まった意見（その①）

疲れがいっぱいになる頃

たっぷり味わえた

昼食を挟んで、午前中、午後と動けて良かった

ちょうどまわれた

つかれたけど満足感たっぷり

6時間の中で自分のペースで進むことができたり、休憩を挟むことが出来たから。

作戦を考えながら、効率のよく回るやり方を考えて行動できたから。

限界だと思いつつも動ける程度だったから

疲れたけどギリ耐えた

丁度いい疲れになった。いい感じに全部は回れないから。

ちょうど良い疲れ具合

お昼食べて歩いて程よく疲れるくらいのじこんだったため

集まった意見（その②）

本数が少ないバスを使って行きたい場所に行けた

ヘロヘロになってしまったから。

三万歩を超えました！

意外とあっという間感じたから。

満身に都留を楽しめる時間だったから。

長時間歩き回るのが体力的に大変でした、笑

体力的には疲れましたが、見所満載なのでまだまだ見切れていないところ、

ゆっくりみたいところなど考えると妥当な時間と思いました

足が痛くなるから

体力的にこの程度ではないでしょうか

実際に歩きだけで半分は回れたから

回りきれなかったが、差をつけるにはちょうどいい気がする。

効率よく周る工夫が求められるから

歩き疲れたので

頑張ればほとんどのチェックポイントに行くことができる時間であったため。

程よく疲れたから。

ほどよく歩き回れて疲れる極限だったから

制限時間まとめ

- ・ 午前と午後を挟んだ6時間では、参加者が自由に時間配分をすることができたという点で評価を得られた。
- ・ スポーツという観点から動き続ける中で感じる疲労感も6時間程度のものがちょうどよいと思われる意見が多い。
- ・ チェックポイントの散らばり具合と得点感がちょうどよく、回り切れそうで回り切れない、という部分におもしろさが改めて表現された。

おすすめのポイントについて（抜粋）

田原の滝（多数）

太郎次郎の滝

太郎次郎の滝

勝山城

南都留森林組合さんの案内

各駅の雰囲気

ナチュラリズム

織水の落ち着いた雰囲気

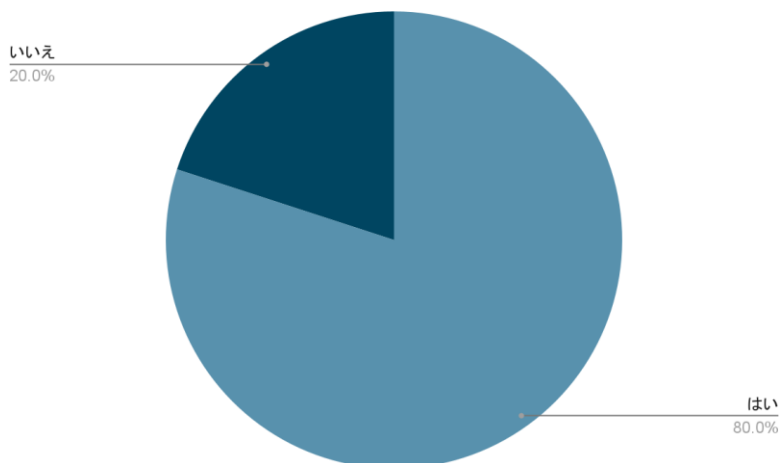
一見、しょぼそうにみえた滝だけど、5～6の滝が並んでいる景色に圧倒され、疲れ飛んだから。ちょっと行きづらい場所も高得点になっていることで行こうという気になって行った結果、すごく感激するビューを味わえた。

様々な観光地や飲食店を巡って、都留市の自然を体感できた点がよかった。

谷村第一小学校周辺の神社やお寺がたくさんあり、とても癒されたところが良かった。

このような機会がなければ見る事が出来なかった景色を見ることが出来たため。

都留に来る前と来た後でイメージの変化はありましたか？
(ポジション/ネガティブ問わず)



集まった意見（その①）

自然、歴史が豊かでまたきて見たい場所も多かったから。

もっと都会だと思っていた。

個性のある個人商店が多くあることを知れて良かった

想像よりたくさん見所があった

大学周辺以外のエリアに行けて、印象が変わった(特に東桂)

新しい発見ができたから。

意外まだ知らない寺社が沢山あった

城下町である事はなかなか特徴的でアピール出来ると思います、都留広すぎずおすすめ

通りが1本変わるだけで知らないお店や神社がたくさんあったから。

正直、都留市の観光スポットはほぼ知らなかったが、滝・水源や寺社仏閣などが思った以上にたくさんあり、観光資源もある落ち着いた雰囲気の良い町だと思ったから。

湧水や寺社などさらに都留の魅力を知れた。

これほど多くの自然があるのだと強く実感できたから。

都留の魅力のある場所を知ることができたから。

集まった意見（その②）

正直、山間にひっそりと佇む小さな街で、消滅を待つだけの街だと思ってたけど、ポテンシャルの高さに圧倒されたから。

大学生で、都留文科大学の周辺しか行ったことがなかったが、今回谷村町や十日市場、そして勝山城の方へ行くことができ、都留市の歴史や自然に触れることが出来たから。

何も無いのかと思ったら色々あって楽しい。

都留市は以外と広いのだと思いました。

自然の豊かさや神社の豊富さに驚いたから。

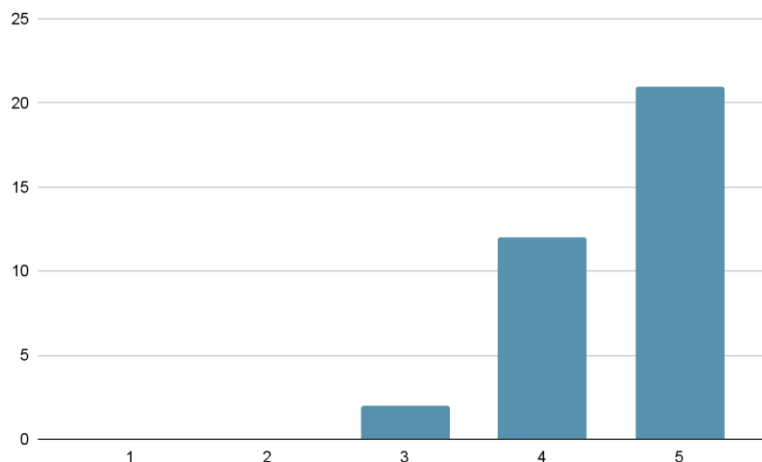
都留の魅力をどんどん知りたくなる。

古い街並みの色の感覚が変わったため。

色んな穴場を見つけたから。

「はい」を選択したのは、ネガティブからポジションにイメージが転換しており、「いいえ」を選択した人はそもそもネガティブな印象がなかった様子。

今後も都留と関わっていきたいですか
(1 そう思わない～5 そう思う)



集まった意見（その①）

今日回らなかった所を機会があれば是非来てみたいので
妙な愛着を街に感じるから
温泉は良く来てますので、
来た時に他の所へ寄ってみたいと思いました。
こんなにも面白い場所に面白い人がいるから
地域と関わることが好きなので、残りの大学生活を都留市とともに、
楽しんでいきたいから。
氷見と連携して色々やっていきたいから！
自然豊か
魅力的の一言！
市を上げて地域振興を進めているのが素敵だから。
関わる機会があれば積極的に関わりたい

集まった意見（その②）

もっともっと都留を知りたいと思ったので。
今回の活動を通して新しい発見ができたから。
せっかく住んでいるので色々な場所に行きたいです。
見所満載、個人商店もイキイキと営業していてなんだかホッとします、
ショッピングモールとかがない分、昔ながらの町が残っていて良い気持ちになれる街、
のんびり感も良いなーって感じます
行ったことのないお店で行ってみたい場所が見つかったから
人生のオプションだからなあ
第二の故郷だから
国立市でゲストハウスを運営しているので、今後も交流していきたいです。良い町です。
文大卒なのでこれまでもこれからも関わっていきたい。
イメージアップもイメージダウンもなかったため。
今回のイベントで都留の魅力に気づけたから。
引っ越してきてからずーっと好きだから、これまでもこれからも関わります。

得られた成果

- 学生主体のイベントであるにも関わらずこの規模で開催できたことは、多方面よりご支援を頂いたことも多いに影響しているが、学生がさらに街や行政と関わるきっかけになるステップになり得る
- 市外や県外の参加者も一定数いるなかで、都留のまちが持つポテンシャルの高さについて、色々な視点から捉えられており、今後も都留と関りを持ちたい、という参加者が多いことから関係人口化することができた。

- 観光×スポーツとしての“観光”ロゲイニングを今回は実施したが、主催側の、①チームで楽しむ、②まちを歩いて楽しむ、③都留を堪能する、④スポーツとして運動を楽しむ、という狙いの4点を達成することができた。
- ロゲイニングというスポーツ自体に大きな発展性があると確信することができた

- まちの商店や施設に今回のイベントについて依頼してまわり、ほとんどの商店や施設では快諾をいただき、地域で連帯して応援をいただいた。
- 引き続き様々な学生や団体がこういった活動を企画実施することで、まちと学生や、学生と行政がより密な繋がりをつくることができ、よい街づくりに貢献することができると感じた。

これからの課題

集客

- 企画者や事務局の広報では、マーケティング視点でさらに効果的な広告を展開し、リーチ数や集客母数を拡大する必要がある。
- SNSではリーチしないような世代に対するPRに課題を感じる。

運営

- まちの商店や施設に対するアポイントメントを得る作業にかなり時間を要した。もう少し前もって少しずつ進めていく必要がある。
- 当日の動きについて、ポイントの計算は事務局員の手動によるものから自動化したい。
- 自動化できないとしても、参加者との連絡を密に行うなどして（公式LINEによる自動配信を利用する等）効率化を図りたい

運営

- 資金面で、不安がある。自走できるようなモデル、例えば配布パンフレット中での広告費など、を構築する必要がある。
- 賃金や謝礼について、スタッフの貢献度は高かったものの、得られたものは経験ということになり、資本的な謝礼がなく事業やイベントの成長に懸念点がある。
- 運営の担い手が安定しない。興味のある学生が必ずしも都留に居続けるといったことはないことを加味すると、継続性に不安が残る。

提言

提言

- 大学コンソーシアムの繋がりを利用し、各大学のもつ強みを終結させた運営にすることで、イベントとしてもさらに発展しうると考える。
→さらに積極的に連携の利活用を推進するとよいのでは
←ゼミ活動として行うかどうかについては丁寧な検討が必要
- 市民のシビックプライド醸成のために、今後も行政や、行政と関連する企業（SDGs 包括協定関連での富士急行株式会社様など）と、市民との接続をこのようなイベントを介して行い規模感や集客数をさらに増幅させたい。

提言

- ロゲイニングを中心に、様々なまちコンテンツを開発し、また然るべき大会や団体を誘致することで、ロゲイニングのフロンティアとして都留をブランディングできるのではないかな
- イベントPRにおいては、市内広報や公式SNS/HPなどを活用するような支援を引き続きいただきたい

提言

- 学生が行ったイベントでこれだけの成果が認められたことから、行政主体で規模を拡大し開催した場合には、さらに広く関東圏や全国への波及効果があるかもしれない
 - ⇒プレイヤーとして、まちの人や学生、全国からボランティアやプロボノを募ると、新しい行政と市民との連携事業としてモデル化可能？

提言

- ロゲイニングには様々な分野で取り入れられる可能性がある
 - 観光や産業振興はもちろん、地域の魅力再発見や郷土愛醸成、そしてまちづくりに積極的に参画する動きを作ることができる
 - ⇒ 教育機関との連携や、シビックプライドの醸成に関連する事業として活用可能

感想

感想

- 学生の思い付きで、大手民鉄や行政の皆様を巻き込み、イベントを実施することができたのは、まちの風土の良さを改めて再確認するきっかけとなった。
- 市民委員会制度自体が、市をよくすることや、市民が市政にさらに参画するきっかけを与える良いものであると思う。
- コロナ禍の中で企画し、実施したが一定数の域外からの参加者を得られて主催している側として安心できた。

感想

- まちの商店や小売店等にアポイントを取った際にも、快くひきうけてくださった店舗も多く、嬉しかった。
- 一方で、まだまだ若いイベントなので、取り合ってもらえなかった店舗もあったが、学生の行うイベント、として大枠で考えたときには、まだまだ力が無いのかな、というところも反省点ではあるので、絶えず行動を起こし続け、都留のまちと学生のクロスするポイントや、密着度を高めていきたい。